

1 位置と環境

本校は、石狩川・忠別川・美瑛川の合流点を近くに控え、旭川市発祥の地といわれている「曙地区」を中心とした所です。また、交通の基点であり、旭川教育発祥の地として歴史的経過をもつ地区です。



2 校名

大正7年に上川第六尋常小学校から青雲小学校へと校名が改められました。当時は、道路から学校正面玄関に向かって両側に落葉松の並木が高くそびえていました。そして、冬ともなれば、この並木は全部樹氷の花を咲かせます。また、晴れた朝など朝日に輝くこの樹氷の並木を通して眺める青雲は、何とも言えない美しいものでありました。

3 校章

この学校で学ぶ子どもたちが、正門に並ぶ樹氷を通して見る青空のように、いつも澄みきった清らかな心と明るい希望をもって努力して欲しいとの願いから、校名の二字《青雲》を雪の結晶で包んだ校章が決められました。また、雪の結晶は上川第六尋常小学校の『六』を併せてデザインしたものです。(学校沿革誌より)

